

平成24年度「うつのみや学校マネジメントシステム」学校評価書（計画）

宇都宮市立清原北小学校

1 教育目標（目指す児童生徒像含む）

「人間尊重の教育」を基盤に、自ら考え正しく判断し、豊かな心をもってたくましく生きる児童を育成する。

【考え深く】

【こころ豊かで】

【たくましく】

活用期 ○ 自ら考え工夫する子 ○ こころ豊かで思いやりのある子 ○ 気力と体力のあるたくましい子
基礎期 ○ 自分で考え学習する子 ○ 親切で思いやりのある子 ○ 元気でがんばる子

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

『小規模特認校として、保護者や地域から信頼され協力し合いながら、夢と理想をもって共に成長していく学校』

- ・児童一人ひとりが目当てをもって、生き生きと学習や活動に取り組み、成就感や達成感を味わうことのできる学校
- ・児童のよさや個性が発揮でき、お互いに認め合い、励まし合いながら伸びていこうとする気風が満ちている学校
- ・児童自らが、体力・健康・食を関連付けた望ましい生活習慣を身に付け、気力と体力が充実している学校

3 学校経営の方針（中期的視点）

- ① 小規模特認校として、学校・家庭・地域が互いに連携し信頼関係を深め、小中一貫教育の基本方針により学校力を高める。
- ② 個に応じたきめ細かな指導により、基礎学力の定着を図る。
- ③ 児童と達成感や成就感を共有し合うことにより、「学ぼうとする力」を育成する。
- ④ 課題解決や目標達成のための資質・能力「自己実現力」を育成する
- ⑤ 認め合い、励まし合い、協力し合える豊かな人間関係を構築し、「よりよく生きようとする力」を育成する。
- ⑥ 体力・健康・食に関する望ましい生活習慣を構築し、心身共に「健康的な生活を創ろうとする力」を育成する。
- ⑦ 専門職として自己研修に努め、教科・学級・学校経営の適正化を図り、協働性を高める。

4 今年度の重点目標（短期的視点）

（学校運営）

- ・小規模特認校8年目となり、基礎学力の充実を図り地域でよりよく生きようとする児童の育成を目指すことにより、保護者や地域との信頼・協力関係の向上を図る。

（児童生徒指導）

- ・基本的な生活態度を身に付け、善悪の区別ができる規範意識をもった児童の育成

（健康・体力）

- ・体力・健康・食を関連付けた望ましい生活習慣をもった児童の育成

（学習指導）

- ・進んで他者と関わりながら音楽を楽しもうとする児童の育成

5 自己評価（Aは共通評価指標、Bは学校独自評価指標）

（評価指標の【全】は、全体アンケート実施）

（「主な具体的な取組の方向性」には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入）

項目	評価指標	主な具体的な取組	方向性	評価
教育全体の状況	A1 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。【全】 【数値指標】 A1対応共通アンケートにおける肯定的回答80%以上	○ 学び方の指導、学びの記録充実、教育相談及び保護者との懇談の工夫により、主体的で前向きな学習習慣及び学習意欲の向上を図る。		【達成状況】
	A2 教職員は、組織の一員として誠実で熱心に教育に当たっている。【全】 【数値指標】 A2対応共通アンケートにおける肯定的回答80%以上	○ 学校及び学級経営の課題の明確化、共有化を図り、組織的・継続的に教育課程を実践する。		【次年度の方針】

学校運営の状況	A3 児童は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。〔全〕 【数値指標】 A3対応共通アンケートにおける肯定的回答80%以上	○ 「清原っ子の約束」を活用し日常的な学級経営を中心に、規則・規範意識の向上、その行動化の目標を設定し、児童指導の強化を図る。	
	A4 分かる授業やきめ細かな指導で学力向上を図っている。〔全〕 【数値指標】 A4対応共通アンケートにおける肯定的回答80%以上	○ 学習に対する個人的目標・集団的目標・家庭学習の目標を設定し、継続的に努力する学習環境を充実させる。 ○ 国語科、算数・数学科、会話科において小中が連携し授業改善に取り組む。	
	A5 日課、授業、学校行事など教育課程は、適切に実施されている〔全〕 【数値指標】 A5対応共通アンケートにおける肯定的回答80%以上	○ 教師の多忙感、児童の学習疲労の状況を把握し、学校生活のリズムの構築及び行事、分掌の精選に取り組む。	
	A6 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われ、「地域の学校づくり」が進められている。〔全〕 【数値指標】 A6対応共通アンケートにおける肯定的回答80%以上	○ 学校を開いたことにより、顕在化してきた保護者や地域のニーズを具体的な教育活動として実践する。 ○ 小中一貫教育の取り組みを保護者・地域に発信する。	【達成状況】
	A7 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った取組が推進されている。〔全〕 【数値指標】 A7対応共通アンケートにおける肯定的回答80%以上	○ 地域各実行委員会が企画・運営し、学校の特色ある教育活動となっている「3連携プログラム」の充実を図る。	【次年度の方針】
	A8 校内は、学習にふさわしい環境となっている。〔全〕 【数値指標】 A8対応共通アンケートにおける肯定的回答80%以上	○ 児童の学習や生活の場、また、地域が活用できる公共の場としての校舎内外の環境整備に努める。	
	A9 学校全体で、教職員一人一人の指導力向上に努めている〔全〕 【数値指標】 A9対応共通アンケートにおける肯定的回答80%以上	○ 短期的・中期的な学校課題の明確化・共有化を図り、組織的な対応を通して、教職員の資質の向上を図る。 ○ 小中乗入授業を通して、教職員の資質の向上を図る。	
	B1 地域学校協議会の充実を図る。 【数値指標】 行事アンケートにおける肯定的回答80%以上	○ 地域学校協議会の活動内容及び運営状況を広く公表し、意見を求めることにより協議会の活性化を図る。	

教育活動の状況	生 活	A10 元気にあいさつし、気持ちの良い言葉づかいをしている。〔全〕 【数値指標】 A10 対応共通アンケートにおける肯定的回答80%以上	○ 具体的な言葉の使い方及び言葉を使う心の両面指導を重視し、学校・家庭・地域が連携した継続的な指導を実践する。 ○ 小中連携した「 <u>地域学校園あいさつ運動</u> 」を実践し、児童の意識の向上を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
	健康・体力	A11 毎日朝ごはんを食べ、好き嫌いのない食事をしている。〔全〕 【数値指標】 A11 対応共通アンケートにおける肯定的回答80%以上	○ スクスクプラン実践において学級活動や委員会活動等児童の主体的な活動を充実させ、自らの生活を創る力の育成を図る。 ○ 「 <u>地域学校園お弁当の日</u> 」を実践し、保護者との連携を図った食育を実践する。	【達成状況】 【次年度の方針】
	学 習	A12 授業に熱心に取り組む、基本的な学習態度・技能が身に付いている。〔全〕 【数値指標】 A12 対応共通アンケートにおける肯定的回答80%以上	○ 絶対評価や相対評価を生かした的確な児童理解、個に応じた指導内容、児童の変化に対応した迅速な指導方法を実践し学力向上を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
本校の特色・課題等		B2 コミュニケーション力の育成に努めている。 【数値目標】 会話科アンケートにおける肯定的回答80%以上	○ 宇都宮大学と連携し、会話科のカリキュラムの再構築及び他教科、領域との関連を明確にし、統合的・継続的にコミュニケーション力の育成を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】

〔総合的な評価〕

6 学校関係者評価

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）